

自治会連絡所

場所 6号棟集会所 NO.1
 電話 (914) 9870 (公衆電話)
 開設時間 月～金 10時～3時
 入会、相談などご利用ください

王子五丁目団地自治会会報

第12号

1979年10月1日

王子五丁目団地自治会

編集・自治会広報部

発行責任者・石井利弘

5-710番 (912) 4034

第11次統一行動—全国の団地住民と共に— 高家賃引下げ運動を強めます

一般消費税・物価値上げ反対で署名

灯油購入でアンケートも

盛大だった団地まつりが終って、アツという間に二月。ノボ住宅の間を秋風が吹きぬける時となって、またひとしお身に沁むのは、わが団地のあまりに高い家賃のこと。みんなががんばって、昨年七月に住宅公団史上はじめての家賃値下げを実現したのですが、この喜びもこの四月の傾斜上昇によって消えました。高い家賃の引き下げ、傾斜家賃の即時凍結—わが団地居住者のこの切実な要求、自治会にとって最大、最重要のこの課題をやりとげるために、再び十月から高家賃引き下げの団地ぐるみのキャンペーン(学習・署名・

カンパ運動)を開始します。全国公団住宅自治会協議会の第11次全国統一行動が始まっており、全国自治協加盟三百七十団地、三十八万世帯の団地住民と力をあわせて運動を大々的に進めます。高家賃引き下げのためみんなががんばりましょう。また、灯油はじめ諸物価の値上がりが続き、生活を圧迫する一般消費税の新設が大問題になっています。自治会は十月に、灯油の共同購入を守るための会員アンケートと、「物価高騰と一般消費税新設反対署名」も行ないます。



「非常持出袋」全世帯に配ります

自治会が近く、団地の全世帯に「非常持出袋」を配布します(無料)。区民のつよい要望にもとづき北區が五十四年度予算に計上したもので、災害時にそなえ、応急品等を常に準備しておくの役に立て、防災意識を高めようというものです。

配布は十月中旬頃の方法は現在、自治会役員会、災害対策本部で検討中。

三号棟公共施設問題 区議会があつせん案

自治会 区の誠実な実行要望

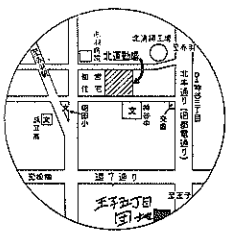
自治会と北区との間で話し合いが続いてきた、「建物下層部分五スパンと約千五百平方メートルの空地の利用をめぐる問題」は、九月一日付け「自治会連絡所」でお知らせしたように、北区議会正副議長、厚生委員会正副委員長のおおせんにより、解決へのしるしが敷かれました。団地居住者もこの決着のためには、このあつせん案を北區がきちんと実行するかどうかにかかっています。自治会と区議会責任者との会談後、九月議会が開催され小林区長の日程がとれないなどの理由で、また区の明確な態度が示されていません。自治会は誠意と道徳をもって、問題解決にむきつき努力していきます。

今年一月、北区が王子五丁目 団地と学区区域が異なる王子第一 などの計画を発表し、五十四 回は団地住民の利益を守る立場 団地三号棟公共施設予定地、 小学校の学童保育クラブを設置 年度予算に計上して以来、自治 会から、区理事者との交渉や、議

自治会の行事

区民大運動会

10月10日(体育の日)午前8時半集合
 雨天の場合14日(日)——
 区立北運動場(地図参照)



自治会は昨年引続いて参加、町会対抗種目(小、中学校、一般各男女四百リリ)に出場。飛入り個人種目(年齢別競争、千尺、八百尺競争、ママさんドリブル競争)レクリエーション競争も多数あります。出場希望者は自治会へ申込みを、観戦、応援も含めてにぎやかに参加しましょう。

秋のハイキング
 10月28日(日)
 行き先 高尾山
 主催 北区青少年王子地区委員会
 (参加申込みは自治会事務所か912-310677 吉田へ)

秋の映画会・10月13日夜・集会所
 (「男はつらいよ」シリーズ)

公団北営業所交渉・10月12日(予定)

北区ソフトボール大会出場・10月7日

検計中で、決まり次第「自治会」です。「非常持出袋」の大きさを速報)やポスターでお知らせしはタテ十、ヨロ四十三代。

会陳情など努力をかかなくてはなりません。自治会とくは、区がその建設計画を一方的に強行するのではなく、毎月の高い家賃で三号棟空地の土地代を負担している団地住民の率直な意見にも十分理解を示し、居住者との話し合いによる民主的な行政を行なうよう強く要望してきます。

八月二十五日、自治会役員と区議会正副議長、同厚生委員会、自治会正副議長との会談を検計中、自治会の主張を大すして認められた議案側の努力に敬意を表し、北區当局があつせん案を誠実に実行するよう求めることを決議しました。

議会側あつせん案

①主一小学童クラブは当面三号棟に建設される施設を使うが、なるべく早く学区区域内にもどす(神倉掘埋立地が最適)。

②園庭はクラブ占有ではなく一般に全面開放する方向を検討する。

③④は厚生委員会所管事項。同委員会はこれを全委員で確認し、区から公文書を求める。

④は正副議長あつせん案)

①主一小学童クラブは当面三号棟に建設される施設を使うが、なるべく早く学区区域内にもどす(神倉掘埋立地が最適)。

②園庭はクラブ占有ではなく一般に全面開放する方向を検討する。

③④は厚生委員会所管事項。同委員会はこれを全委員で確認し、区から公文書を求める。

④は正副議長あつせん案)

自治会入会申込書

公団王子5丁目団地自治会へ入会を申込みます。

昭和 年 月 日
 号棟 号室 TEL ()

世帯主 氏名 _____
 家族 氏名 _____
 氏名 _____
 氏名 _____
 氏名 _____

王子五丁目団地自治会 御中

自治会費自動振替承認届

王子5丁目団地自治会会費を下記預金口座から所定の日に振り替えることに同意します。

昭和 年 月 日
 東京都北区王子5丁目2番地 号棟 号室

氏名 _____

(銀行届印を押して下さい)

預金口座名義人 _____
 預金口座番号 No. _____

東京相互銀行 王子支店御中

自治会への入会はこの用紙に記入して連絡所が役員にお出し下さい。会費一カ月三百円、入会金二百円です。会費納入はなるべく銀行自動振替にするよう協力下さい。

王一小クラブは早急に学区内に戻す、園庭を一般に開放する

区は「誠実な実行」の確約を

自治会、住民の主張つらぬく

6月から経過

三号棟公共施設問題について「会報」第十号でお知らせした後の経過は次のとおりです。

「集会施設」の陳情 議会が不採択に

6月22日 自治会、六月区議

会に「日本住宅公団王子五丁目団地三号棟公共施設予定地に区民集会施設の建設を願う陳情」を提出し、「学童保育クラブ施設」とも、団地住民のための「区民集会施設」を併設してほしい」と要望。

区から「協力依頼」 厚生委視察を延期

6月29日 区議会区民衛生委

家賃で用地費負担

「わゆる」公共施設予定地「子」のスペースです。

として三号棟と五号棟に残っている空きスペースは、限られた空間に多数の住民が生活するこの団地にとっては、トラの公共施設をつくるスペースを残し

団地三号棟公共施設予定地に北区が王子第一小学校の学童保育クラブを建設する計画を立てていることに対し、自治会は「学童クラブの必要性は理解できる」との態度を前提に、①王一小クラブは学区内設置の原則にもとづき早急に学区内に戻すこと、②園庭は占有せず一般に開放すること、③園庭に水飲み場、時計塔の設置、④団地住民が広く利用できる施設の併設——を主張してきました(①②③は区議会に陳情採択)。一面でお知らせしたように、区議会はこの主張をおおむね認めて「あせん案」を提示したのです。しかし、北区の態度がいつまでもハッキリしません。そこで最近、学童クラブ建設工事の着工が遅れていることについて、一部の区議会議員が「団地自治会や住民はエゴだ。自分たちのことだけしか考えてない」「子供の問題に文句をいうのはけしからん」などの「暴言」ともいえる発言をしています。団地住民は決して「エゴ」ではありません。自治会の方針は結成以来一貫しています。次の事情がわかればそうした発言は誤解であることが理解されるでしょう。

長が小林区長名の「学童クラブ建設について(協力依頼)」(北見児第5〇八号)の文書を自治会に持参して来る。自治会が自治会を訪ね、区議会厚生委に「学童クラブ建設促進の陳情」を提出し、区議会が8月2日三号棟予定地を視察するむね連絡。

7月25日 北区南本児童部長(北見児第5〇八号)の文書を自治会を訪ね、区議会厚生委に「学童クラブ建設促進の陳情」を提出し、区議会が8月2日三号棟予定地を視察するむね連絡。

7月30日 石井会長、区議会が三号棟を視察。自治会、委員が三号棟を視察。自治会、委員が三号棟を視察。自治会、委員が三号棟を視察。

7月23日 自治会第五回臨時常任委員会にて文書を論議、費れ(文書は31日発送)。

8月2日 厚生委員会、三号棟視察を延期。

8月14日 自治会四役会で第二次文書の不当性に抗議することを決める。

8月15日 自治会四役会が区の第一次文書に対する質問書の内容を最終決定。

8月20日 自治会石井会長、七月十一日付「協力依頼」についてのおたすねを小林区長あてに提出。石井会長が区議会正副議長と非公式懇談。

8月22日 自治会第八回常任委員会にて区への質問書を承認、自治会の基本的な主張に対し、議会側は役員会で態度を審議するむね回答。

8月26日 自治会第七回緊急常任委員会にて「区が誠実に実行すること」と表明。休憩時間中に、厚生委員長が「11月中に学校のクラブ建設工事説明会を自治会役員に対して行ないたい」と石井会長に打診。同委員会にて王子五丁目団地老人会(桜美会)提出の「団地内に老人福祉施設設置の陳情」と桜田こどもクラブ父母会提出の「桜田小学クラブ施設に関する請願」が上提され、いずれも「保留」になる。

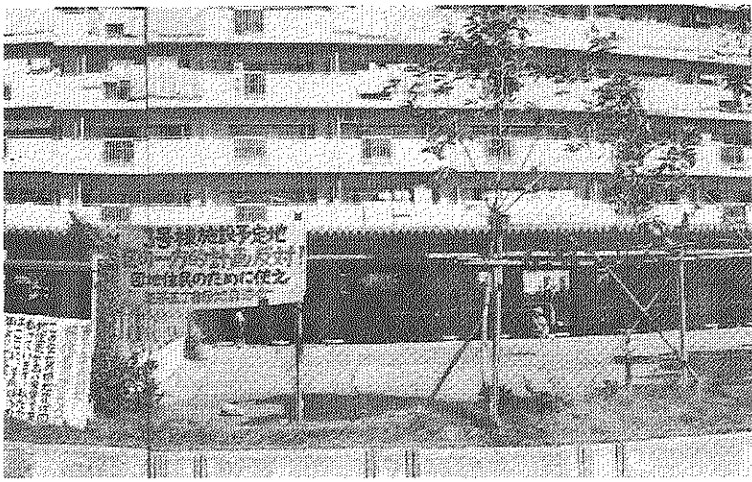
9月1日 石井会長、南本部長に「早急に回答してほしい」と要望。自治会第八回常任委員会にて「区が誠実に回答し、区長の最終意志表明がなければ、せっかくなのであせん案が実現しないことを再確認。」

9月3日 自治会四役会「区の実現しない区長会談」の態度を見守る」と決定。

9月20日 南本部長から区長の日程が変更」と前日の約束を取り消すむねの連絡。

9月23日 自治会四役会「区の実現しない区長会談」の態度を見守る」と決定。

9月26日 自治会第九回常任委員会にて従来方針を再確認。厚生委員長から打診された工事説明会は、「質問書への区の回答」と区長との会談という前提が実行されていない現段階では論外」として現時点では拒否することを決定。



3号棟の「公共施設予定地」

急増する乳幼児 区は将来展望の明示を

私たちの「子供問題」はどうする?

住民の要求を冷遇

昭和三十二年四月の入居開始後、まず問題になったのは区立保育園の不足。団地内た一つ、四号棟公共施設予定地に「桜田北保育園」が新しくつくられたわけでは、入居希望者が多いなどの理由で、入居希望者が北区最高となり、このため「王子五丁目団地保育園をつくる会」が父母の結束で生ま

昭和三十四年三月区議会に対して、自治会が「五号棟公共施設予定地を当面児童運動場として開放し、ネットを設置すること」と「団地住民のコミュニティ施設建設のため土地の提供を公団に区として要請すること」を含め五項目の陳情を行ない、「コミュニティ施設」の項が「公団と区の理事者や各相談員」の早期に実現されるよう望むことと条件つき保留となったほかは、すべて採択されました。その後自治会役員会は、区に対し

見解も明確で、自治会の質問に対し東京支社管理課長は「団地の空地はスペースが限られており、簡単に切り売り、できない。団地居住者のための施設など団地の将来にビジョンを見通して利用計画を立てるべき」と「その団地に関係ない施設の建設計画に公団は合意を与えることができない」と回答しています(54・2・16)。

自治会は昨年五月二十八日に開催した第二回総会で「一九七八年度活動方針」を決定しました。そのなかでも、次のような公共施設についての考え方をすでに打ち出しています。

「当面は空地をキャッチボール広場として住民に開放する」との基本方針を決定。

「王子五丁目団地の建設にあたっては地方自治体との話し合いがおこなわれ、団地内に相当数の公共用地を確保することが決められました。…団地住民の要望にもとづき公共施設の新・増設については、北区などでは「公団用地内」であることを理由に積極的な姿勢を示しておらず、北

自治会は同年十一月結成後、団地住民の施設要望について三号棟空地に「老人、子供、婦人」などのための総合「コミュニティ施設」の項が「公団と区の理事者や各相談員」の早期に実現されるよう望むことと条件つき保留となったほかは、すべて採択されました。その後自治会役員会は、区に対し

見解も明確で、自治会の質問に対し東京支社管理課長は「団地の空地はスペースが限られており、簡単に切り売り、できない。団地居住者のための施設など団地の将来にビジョンを見通して利用計画を立てるべき」と「その団地に関係ない施設の建設計画に公団は合意を与えることができない」と回答しています(54・2・16)。

自治会は昨年五月二十八日に開催した第二回総会で「一九七八年度活動方針」を決定しました。そのなかでも、次のような公共施設についての考え方をすでに打ち出しています。

(一) 団地上部について

3号棟クワン建設問題

団地も施設不足に

問題の責任は北区当局の住民無視の一方的な行政のやり方にあります。昨年十一月、自治会役員が「団地の公共施設予定地は団地住民の意見をよく聞いて活用してほしい」と申し入れたのに、その後区は何の連絡、話し合いもせず、一方的に五十四年度当初予算に計上したのです。二月三日に自治会がその話を聞いたのは、「王子五丁目クワンを拡げる会」からでした。

また、王子五丁目の学童クラブは北区内で、二を争う競争率で、クラブに入れない子供が繰り出区はこうした状況に對してなんら有効な手段をとらず、父母年々急増しており、五十四年度

問題の責任は北区当局の住民無視の一方的な行政のやり方にあります。昨年十一月、自治会役員が「団地の公共施設予定地は団地住民の意見をよく聞いて活用してほしい」と申し入れたのに、その後区は何の連絡、話し合いもせず、一方的に五十四年度当初予算に計上したのです。二月三日に自治会がその話を聞いたのは、「王子五丁目クワンを拡げる会」からでした。

また、王子五丁目の学童クラブは北区内で、二を争う競争率で、クラブに入れない子供が繰り出区はこうした状況に對してなんら有効な手段をとらず、父母年々急増しており、五十四年度

税外負担ごめん、傾斜凍結せよ

不当な高家賃 署名・カンパ運動 引下げ要求し

私たち王子五丁目団地の居住者は、公団住宅に住むがゆえに不当な「税外負担」を家賃で払わされています。小中学校、幼稚園、保育園、外周道路、公共施設予定地などの用地費や建物代などを家賃で支払っているのです。

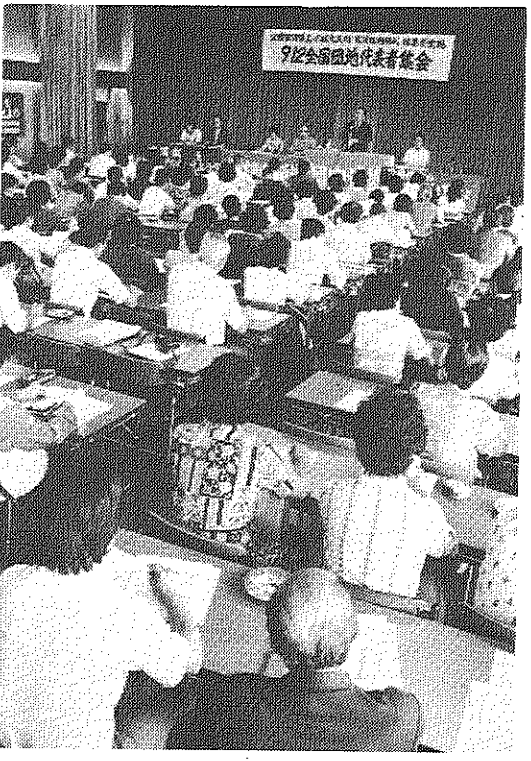
自治会の推計では、王子五丁目団地の関連公共施設の居住者負担額は、直接的な用地費、建築費だけでも六十六億円、一月当り三百円以上です。これにそれぞれの利息分を加えれば、ばく大な負担額になります。また、一年間に六・三割というものすごい率で上昇する傾斜家賃が生活を直撃しています。

この上昇率はかつての「高度経済成長」時代に決められたもので、その後の低成長経済の中で高家賃の引き下げに全力をあげます。不当な「税外負担」を家賃から取り除くこと、傾斜家賃を即時凍結することを要求し、全国自治協に結集する四十万世帯の団地居住者とともに、第十一次全国統一行動を成功させましょう。十月に署名・カンパのキャンペーンをくり広げます。ご協力をお願いします。

第一回自治委員会開く

九月二十九日、第一回自治委員会が開かれました。総会以後、校入学記念品をおくることが、後の自治会の活動報告や自治会常任委員会から受け、これを承認。今後の活動計画についても討議、承認しました。

次に審議事項に入り、現行の「市規規定」のうち、金額三千



全国公団自治協の全国団地代表者集会 (9月12日)

北区議会正副議長、厚生委員会正副委員長、北児童部、王子五丁目団地自治会の会談について

北区議会正副議長、厚生委員会正副委員長、北児童部、王子五丁目団地自治会の会談について

自治会側は次の点について述べた。

(1) 王子五丁目学童クラブが当面二号棟に設置されることについては、当初から十分理解していることである。

(2) 同クラブ建設にあたっては、本年三

自治会側は、委員会の開催以上の点を委員で確認したうえ、区から公文書の提出を求め、自治会に送達するようにしたい。

【正副議長のおせん案】

3、王子五丁目学童クラブ移転のあとには、校田小学クラブが移って行くことになる。その場合、現在の校田小学クラブの施設は、周辺地域住民が活用できる公共施設に転用するよう検討することになるだろう。

4、従来、団地自治会、居住者から出されている要望について、たとえば公衆便所の設置は、当団地が震災時公共避難場所指定されたことに関連して必要になるといった見地から、実現のため努力するよう区理事者に議会からも積極的な働きかけを行う。日本住宅公団に対して居住者の利用を積極的に図るよう、区のとらえを促していきたい。

昭和五十四年八月二十五日

北区議会 議長 富岡 博文
副議長 仁平 清

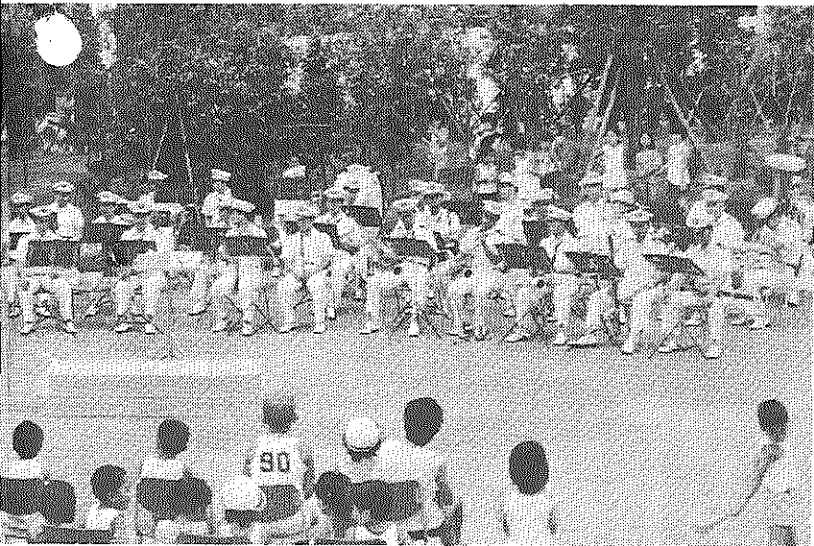
厚生委員会委員長 柴 四郎
副委員長 阿部幸三郎

北児童部 部長 石井 利弘
副部長 松原 保夫
副部長 井上 紘一

自治会の動き

- 〈7月〉
- 11日 団地祭「みどり」つくり
 - 11日 北区「学童クラブ建設について」協力依頼「送達」
 - 12日 全国自治協、公団本社交渉(王子五丁目団地の高家賃引き下げについても交渉)
 - 13日 一會報「第11号編纂」
 - 14日 団地まつり電源工事打合せ
 - 15日 「一會報」第11号出張校正
 - 15日 豊島五丁目自治会協議時総会に出席
 - 16日 青少年王子地区委員会才一ル委員会
 - 17日 青少年健全育成に関する一會報
 - 17日 王子第一小学校学童クラブを拡げる会、父母の会と
 - 20日 「一會報」第11号発行
 - 21日 ラジオ体操
 - 21日 赤羽台団地まつり参加
 - 22日 豊島五丁目団地「太鼓」
 - 22日 ラン「打合せ会」
 - 23日 第五回常任委員会
 - 24日 関東自治協東京23区第一回理事会
 - 25日 関東自治協油対策協議
 - 25日 高島平団地まつり参加
 - 26日 関東自治協市街地・高層団地対策協議
 - 28日 団地祭第三回実行委員会
 - 28日 青少年王子地区委員会主催球技大会参加男子準備勝
 - 29日 王子五丁目自治会協議
 - 29日 王子五丁目自治会協議
 - 30日 王子五丁目自治会協議
- 〈8月〉
- 1日 「おまつり速報」第4号
 - 2日 団地まつり第4回実行委員会、準備作業
 - 3日 第三回団地まつり
 - 4日 第三回団地まつり
 - 5日 第三回団地まつり
 - 6日 あつしつけ、団地まつり実行委員会
 - 1日 第六回常任委員会
 - 2日 団地まつり写真展
 - 2日 ジャパン池打合せ
 - 5日 関東自治協第二回常任理事会
 - 6日 王子プール池切り日
 - 7日 区議会正副議長・同厚生委員会正副委員長・同児童部・区民部打合せ
 - 8日 老人福祉施設建設を願う陳情書提出(核美会)
 - 9日 青少年王子地区委員会
 - 12日 「コピー」駆除講習会
 - 12日 全国自治協「全国団地代表者集会」と公団本社要請進会議
 - 13日 全国秋季交通安全運動推進会議
 - 14日 会費集金担当者一談会
 - 15日 第二回敬老会
 - 18日 北区議会厚生委員会傍聴
 - 19日 第二回池打合せ
 - 21日 北区議会建設委員会傍聴
 - 21日 管内連合会会長会議
 - 23日 桜田中学校体育大会
 - 23日 第八回四役会
 - 26日 第九回常任委員会
 - 29日 第一回自治委員会
 - 29日 区民大運動会参加チーム代表者会議

ユニティ万歳!



ぐるみの大交流 づくり団地まつり

多くの人が汗を流し、声をからし、心ゆくまで楽しませました。六つの高層住宅に囲まれた中央の広場に、人の心と心のゆたかな交流が生まれ、育ちました。なによりも、子供たちが、大きな喜びと夢をもちました。

第三回ふるさと王子五丁目団地の手づくり団地まつりーたくさんの方がたの協力と参加で、圧倒的な成功をおさめたのです。三ヶ月以上にわたる準備、そして三日間の期間中、目のまわりのような忙しい仕事を、汗みずくになってやりとげてくださった自治会役員、団地まつり実行委員のみなさん、本場にぐくろうさまでした。サークルのみなさん、団地商店会はじめ周辺の商店のみなさん、どうもありがとうございました。

団地まつり成功のもう一つの力は、団地内外の実にたくさんの方が寄付を寄せ、財政的にささえてくださったことです。あたたかいご協力で感謝し、あつくお礼申し上げます。

東京消防庁音楽隊、成徳学園高校音楽部、王子消防署、豊島五丁目団地太鼓クラブ、王五目舞サークル、東京土建労組北支部王子分会、東十条商店街、そば処「富美野」のみなさん、吉原せいじさんはじめ、たくさんの方に催しを盛り上げるためさまざまなご協力をいただきました。桜田小桜田会、桜田中、神谷中PTA、東京アトプロ、王子警察署、東京電力のみなさん



まつりの花
今回のお祭りで、華やかだったものは、初日の東京消防庁の音楽隊と二百名の成徳学園高校のブラスバンド・パトロールです。すか「とか」「せひちでめすっ」で「すてきな」という声がきこえ、近所の人びとをおどろかすまで「あれほんとうに手盛りでつくられたのか」「さあ、さあ、さあ」という声もきこえました。

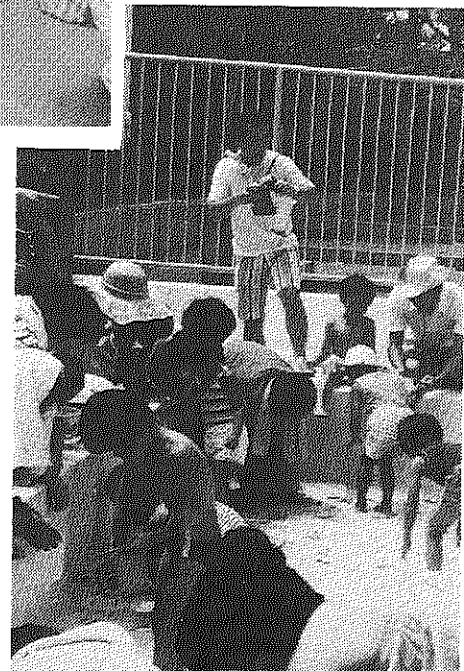
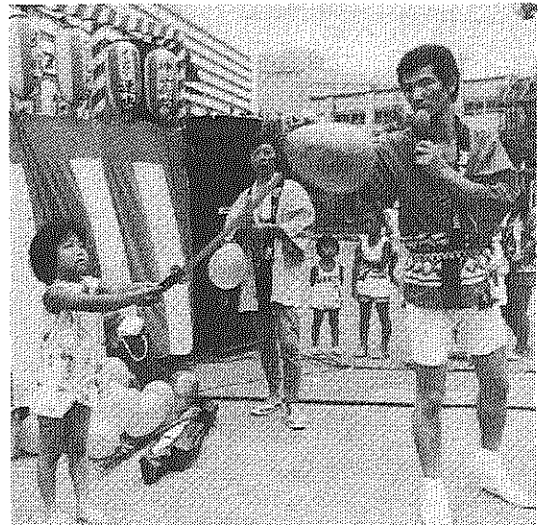
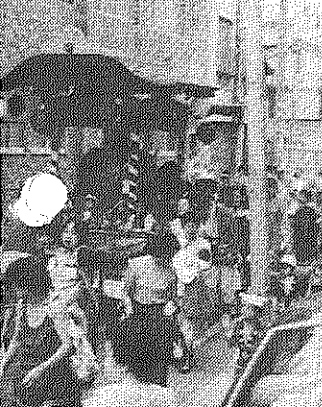
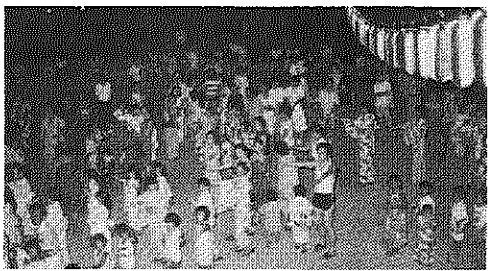


はしゃぎまわった三日間
たるみこしに、山車・ちようちん行列、どじょうつかみ、風船わり、売店、盆おどり、子供たちにとっては楽しいことがいっぱいでした。いっしょに遊んで、いっしょに笑って、いっしょに汗を流して、いっしょに思い出を作りました。盆おどりはもうおどりがたか

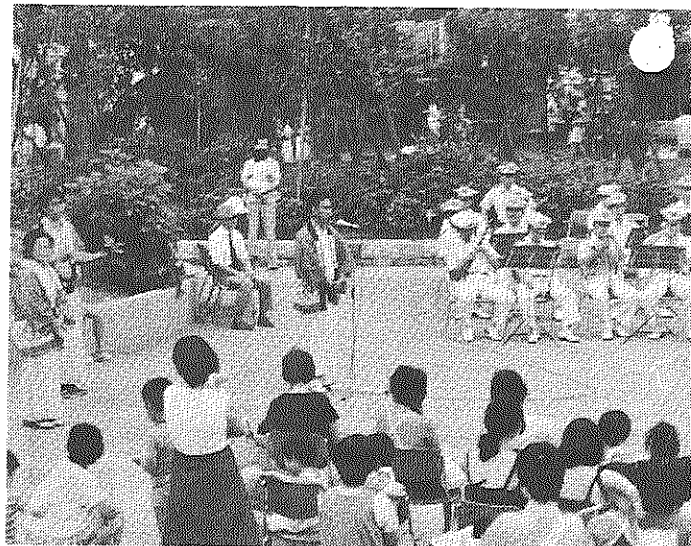
かつめなかつた子もいました。大人は大人で柳川ナベにしようという声もきこえました。風船わりは人が少なかつたので、売店は、一文店と金魚すくいの人気がありました。盆おどりはもうおどりがたか

みこしの豆かつぎ手、なれない、きたじゃお池で、広くてなかな

みこし、暗い所はこわかつた。子供は三日間寝るもせずに、



われらのコミ



3日間で 地域 のべ3万人 最高でした... 第3回

八月三日から三日間の祭典。参加者のべ約三万人。「最高の気分ですネエ」「楽しいね。全部手づくりでたいしたもんだ」「これからもずっと続いてほしい」と大人たち。「うれしい」「楽しい」「うきうきする」と子供たちもみんないました。

細かいことの報告は省きます。いかにすばらしい「おまつり」だったか、写真をごらんになってその一端を思い出してほしいと思うのです。

居住者の間の、子供と大人の、また団地住民と周辺地域住民との、交流と連帯の輪がいちだんと広がった団地まつり。来年はさらに充実した、すばらしい内容のものにしようではありませんか。

おまつり模擬店

今年も大盛況

「おまつり」の呼び名の「模擬店」は、今年も大盛況でした。今年の模擬店は、自治会としても大いにがんばって、多くの店を出すことができました。おまつり券の引換の店をはじめ、トコロソコシの店、ラムネ一文店、トコロソコシの店を並べましたが、この準備には多数の自治会員の献身的な協力が

ありました。

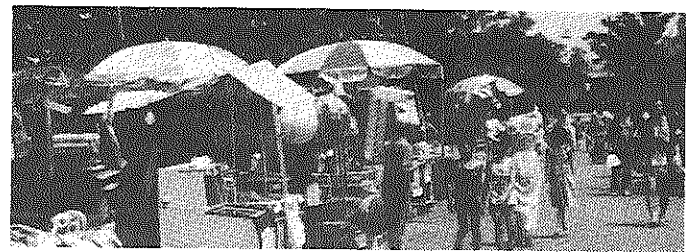
さて、今年の特徴は地元の商品が積極的に協力してくれたこと。自治会としては、品質も値段も十分に納得できるものにしてながら、おまつりが楽しくにぎやかになるように地元の商品への協力を要請したところ、多くの商店から申し入れがありました。その結果、中央広場を囲むように模擬店が出され、どの店も三日間人垣がたえないほどの盛況でした。



初めてサークル参加。今年はさくらんぼ読書会、書研会、お花の三つのサークルが初めて本格的にお祭りに参加しました。見ましたか。書研会の七夕さんとお花の展示。

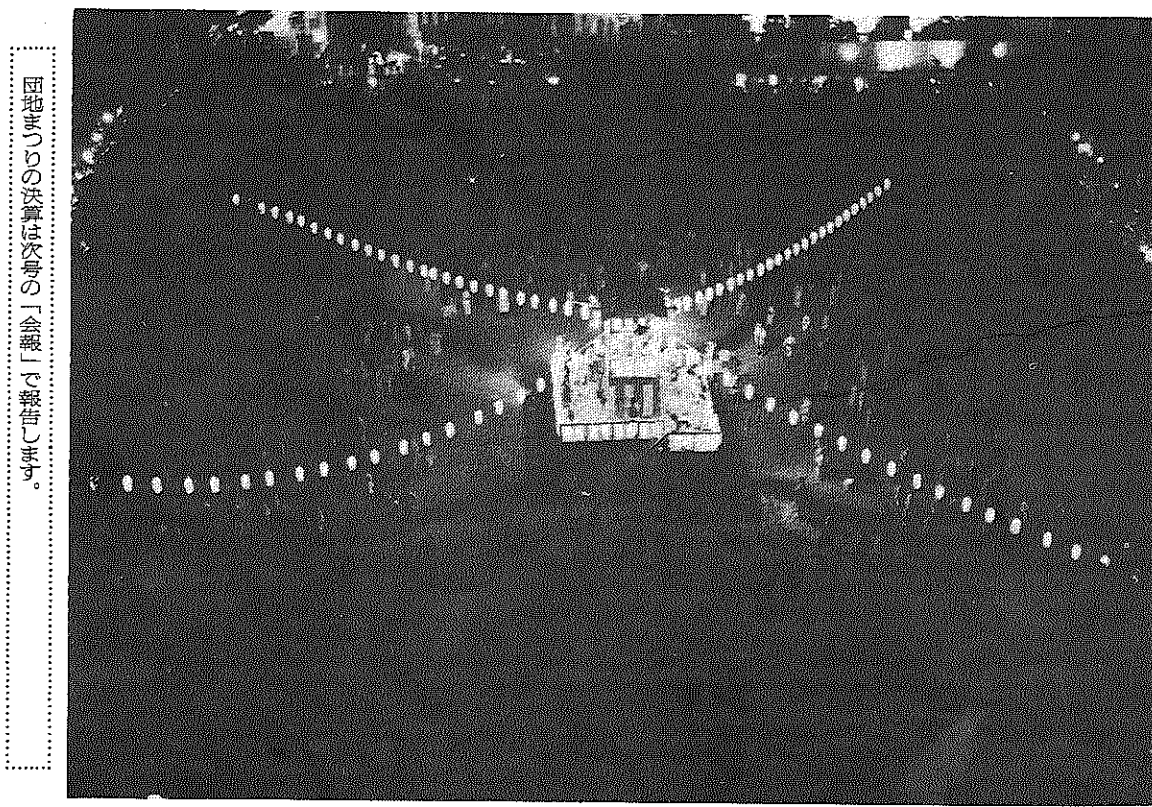
王子最大の盆おどり
今年の盆おどりは、昨年より一日増えて三日間。夕やみせまる午後六時頃から団地中央にたてられた立派なヤグラから盆おどりの音楽が流れだすと、「待ってました」とばかりに多勢の人が広場にくり出し大きな輪を作って踊り出します。それは見事なものでした。

日本舞踊サークルと野田先生のご協力、豊島五丁目団地太鼓クラブの方々の熱演、今年初めての「吉原せいじ歌謡ショー」



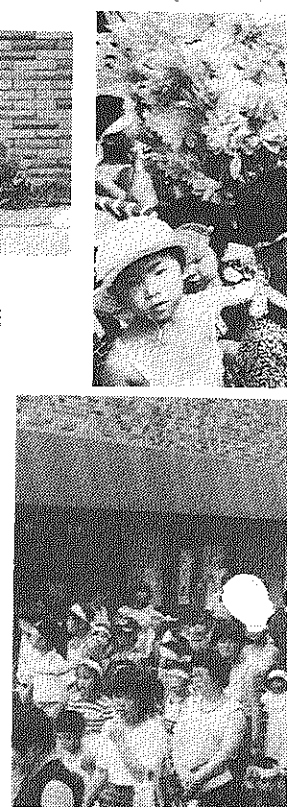
子供たちは、金魚すくいを楽しみ、風せんを手を持ち、おもちの店をのぞきながら、楽しい一日をすごしました。大人は生ビールを飲み、ヤキトリに苦しみながら、ふるさとを思い出し、おまつりを楽しんでいます。

来年は、もっと期待して下さるのを楽しみにしています。



団地まつりの決算は次号の「会報」で報告します。

などで盆おどりを盛りあげ、王子地区最大の盆おどりになりました。



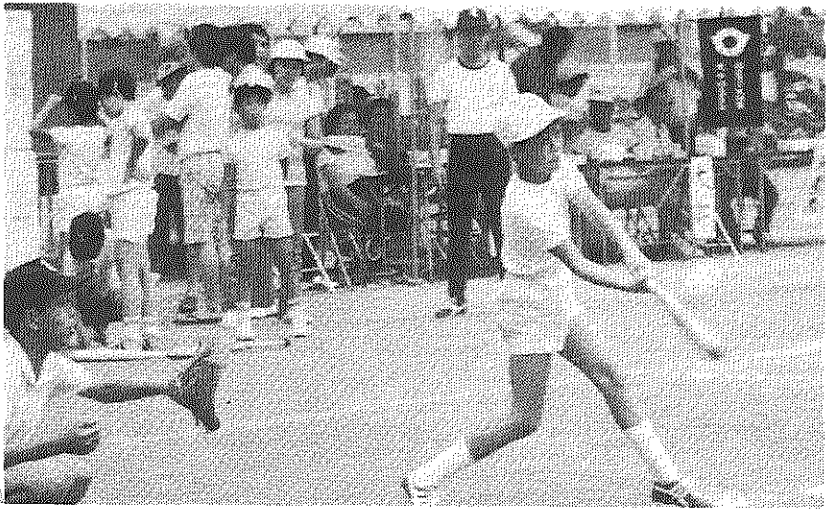
楽しかった夏の行事

自治会では、今年の夏に子供たちを中心とした行事をたくさん計画しました。健康で楽しく夏をすごせるようにという自治会の考えからこうした行事を実施したわけですが、いずれも大成功に終わり、子供たちにも大いに喜ばれました。

青少年協球技大会

初出場の男子みごと準優勝

青少年協球技大会は、王子五丁目地区主催の球技大会（男子ソフトボール、女子キックベースボール）が七月二十九日に男子は桜田中、女子は桜田小でそれぞれ開催されました。自治会では初めての参加でしたが、子供たちは大はまりで一回戦、二回戦と五回コールド勝ちし、決勝戦へと駒を進めました。



初出場準優勝を止めた男子ソフトボール

七月二十一日からラジオ体操場にて練習を開始しました。大人たちは、にがての早起きをしてこの練習につきあいました。が、日暮しに上達していき練習をみてたのもしく思いました。

自治会の第一回敬老会がきっかけで、昨年十二月に結成された団地老人会「桜美会」（大庭勝元会長）では、かねてから老人福祉施設の建設を要望してまいりましたが、九月北区議会で署名千名を添付して、「王子五丁目団地公共施設予定地に老人福祉施設の建設を願う」陳情書を提出しました。

九月区議会に陳情

「老人施設を」と桜美会 桜田学童クラブ父母会も 厚生委、多数決で「保留」に

自治会の第一回敬老会がきっかけで、昨年十二月に結成された団地老人会「桜美会」（大庭勝元会長）では、かねてから老人福祉施設の建設を要望してまいりましたが、九月北区議会で署名千名を添付して、「王子五丁目団地公共施設予定地に老人福祉施設の建設を願う」陳情書を提出しました。



ねむけを吹飛ばし元気に……

決勝戦の相手は前回優勝の豊島二丁目町会チーム。前半でちよつと固くなり相手チームにリードを許し、そのまま残念ながら敗れてしまいました。しかし、初参加で準優勝という立派な成績を残し、来年こそは優勝をねらおうと大いに張りきっています。

今年も盛況ラジオ体操

夏休ラジオ体操が、七月三十一日から三十一日までの十一日間行われ、桜田小学校校庭で、青少年王子地区委員会との共催で約四百名の子供たちが参加しました。



優美な日本舞踊に見とれて一敬老会

いつまでも元気で自治会が敬老会

九月十五日の敬老の日、第二回敬老会が自治会主催で開催されました。昨年は七十歳以上の自治会員の老人をお招きいたしました。都の老人福祉行政が後退する現状のなかで、自治会が老人福祉を前進させる一環として、今年を招待範囲の拡大をはかり六十歳以上の七十九人の方をお招きし、午後一時より集会所で盛大に開催されました。

九名の署名を添付して、「三号棟公共施設予定地に建設する王子第一小学クラブ施設に関する請願書」が提出されました。ともに九月十八日午前十時開会の厚生委員会に付託され、審議されましたが、区側、区議会とも十分な事前調査が行なわれず、陳情、請願提出者の二件とも保留となりました。

真意が確認されないまま審議された。三橋両議員（共産党）は採択を主張しましたが、社会党、公明党、自由民主クラブ、革新議員、北政会各議員が保留を主張したため委員会として、珍らしい挙手採決の結果、二件とも保留となりました。

第2回 映画を楽しむ夕

10月13日・集会所で
敬者の日の九月十五日午後、文化厚生部が企画し、東京電七時から集会所で、自治会主催、方大家支社の協力によるもの「お客さん」が上映された。自治会「お客さん」で満員の盛況でした。

内山常任委員が転居
自治会常任委員（文化・厚生部長）の内山秋雄さん（二一三〇八）が、九月末転居されました。自治会には準備会から参加、常任委員を三期つとめ、団地まつりではなくてはならない存在でした。長い間ご苦労さまでした。

診療科目
内科・小児科・外科
整形外科・産婦人科

救急指定

神谷病院

北区神谷1-27-14 TEL (914)5535~7
(王子五丁目団地徒歩7分)

☒ 診療時間
平日AM 9:00~12:00
PM 2:00~5:00
土曜PM 9:00~12:00

※但し、急患は随時受付ます。

理事長 田島邦泰
院長 田辺政道